

校訓

自ら律し すべてに愛を

NO. 12

令和2年12月23日
文責 校長 本庄良孝

「湖北中学校人権週間」を終えて

世界人権宣言が採択された12月10日を「人権デー」と定め、日本では、毎年12月10日を最終日とする一週間を「人権週間」と定め、全国的に様々な行事が展開されています。

本校では、12月4日（金）～10日（木）を「湖北中学校人権週間」に位置づけ、「さまざまな差別と偏見」をテーマに、人権学習を行いました。



- 1 朝読書の時間に、担任の先生が「読み物資料」を朗読し、感想文を書きました。
- 2 道徳の時間に、人権に関する学習をしました。

テーマ「新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見」

新型コロナウイルスの感染拡大が見られ、感染症に対する不安や感染者などへの差別・偏見などが社会問題となっています。

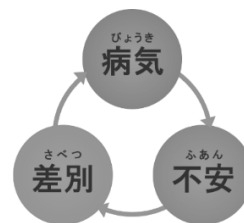
そこで、「差別・偏見をなくすためにどうすればよいか。」また、「自分に何ができるか。」を考えました。



「新型コロナウイルス 差別偏見をなくそうプロジェクト」が制作した動画を視聴して考えました。

【3つの感染症を断ち切るために】（生徒の主な意見）

- ・病気になるために
手洗いの徹底や三密を避ける。
- ・不安にならないために
誤った情報を発信したり信じたりしない。
インターネットの情報に惑わされない。プラスに考える。
- ・差別をうまないために
相手の気持ちを考えて行動する。正しい情報に基づいて発信する。
感染してしまった人のことを理解する。SNSでデマを広めない。



感染症から差別や偏見が生まれる理由（資料から）

人は目に見えないウイルスに対する不安やおそれを、目に見えるものにすり替えます。

感染症にかかった人や、特定の地域・職業の人など、実際に目に見える感染症を連想させる人や場所などを避けたり遠ざけたりする気持ちや行動が「差別や偏見」につながっています。

新型コロナウイルスを含め、感染症は誰でもかかる可能性があります。たたかうべき相手は人ではなくウイルスです。感染症への正しい理解と思いやりの心で不安な気持ちを乗り越えましょう。

ご家庭でもご協力をお願いします。

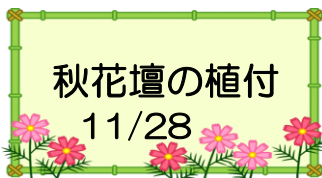
この感染症に対する大人たちの反応は、子どもたちの受け止め方にも大きく影響します。学校でも、今回の授業をはじめ継続して指導していきませんが、ご家庭でも子どもたちが感染症への正しい理解のもとに適切に行動できるよう、ご協力よろしくお願いたします。

3 生徒会の取組

スローガン「自分は一瞬、相手は一生、なくそう心のソーシャルディスタンス」

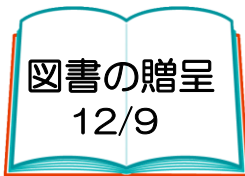
「グッドポイントサーチ」 ～学級の良いところさがし～

学級の良いところや友だちの良いところを、ハートの折り紙に書いて、心温まる木が完成しました。



P T A環境厚生部の皆さん、ありがとうございました。

全校生徒がこの花壇を見て、登校します。美しい花は、心を和ませます。寒い中の作業、ありがとうございました。

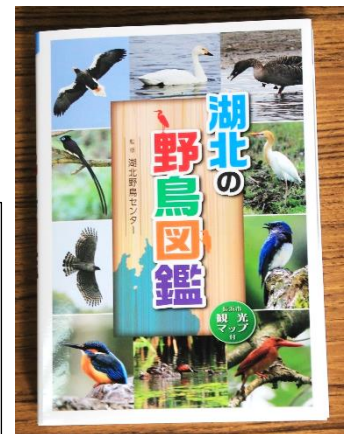


地域の方から、たいへん貴重な本を寄贈していただきました。ありがとうございました。図書室にありますので、ぜひ、読んでみてください。



(湖北福祉会より)

- わたしが障害者じゃなくなる日
- 蝶の羽ばたき、その先へ
- 勇気ある一歩で世界が変わる!
- 乗り越えた壁の先に
- 救命救急24時



(湖北野鳥センターより)

保護者の方へ

- 朝のP T A登校指導当番を 7:45~8:15 頃にお願いしておりましたが、生徒の登校を 8:00 以降としたため、生徒が通らない時間に立っていただいている地域がございました。そこで、生徒の登校時間帯に合わせて指導いただきますようお願いいたします。
- 12月26日~1月3日は学校閉校日となります。12月28日(月)は、長浜市教育委員会教育指導課(65-8605)が対応されますので、緊急の場合は連絡してください。

1月の学校行事

6(水)	3学期始業式
7(木)	2、3年実力テスト 1年確認テスト
8(金)	青葉会委員会
15(金)	P T A実行委員会
21(木)	1年箏演奏体験
25(月)	発育測定
29(金)	P T A新三役会